

経済・金融 フラッシュ

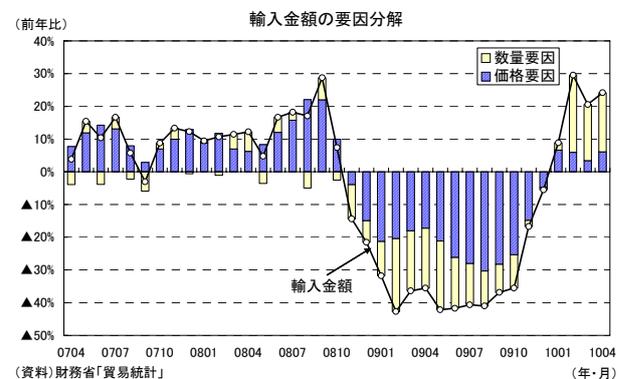
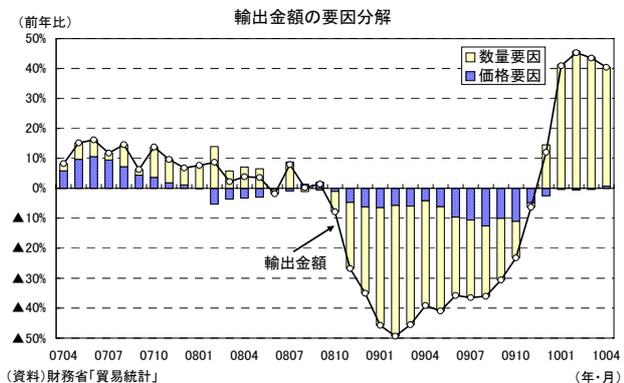
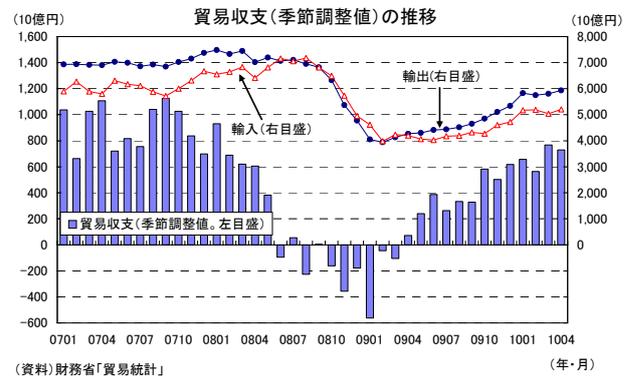
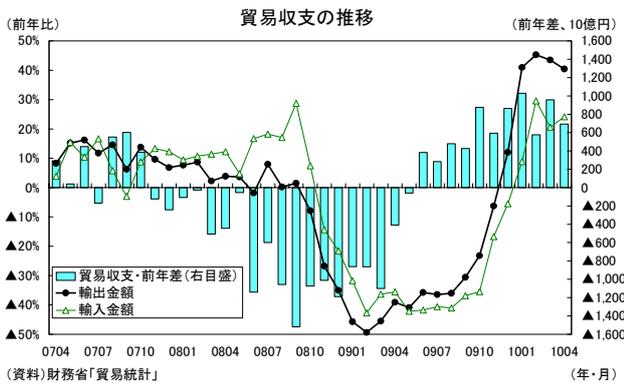
貿易統計 10年4月 ～輸出入ともに堅調を維持

経済調査部門 主任研究員 斎藤 太郎

TEL:03-3512-1836 E-mail: tsaito@nli-research.co.jp

1. 輸出は4ヵ月連続で前年比40%台の伸び

財務省が5月27日に公表した貿易統計によると、4月の貿易収支は7,423億円の黒字となり、11ヵ月連続で前年の水準を上回った。ほぼ事前の市場予想（ロイター集計：7,093億円、当社予想は6,733億円）通りの結果であった。輸出は前年比40.4%と4ヵ月連続で40%台の高い伸びとなったが、3月の同43.5%に比べると伸びが鈍化した。一方、輸入は前年比24.2%（3月：同20.6%）と前月よりも伸びが高まった。季節調整済の貿易収支は7,291億円と13ヵ月連続の黒字となったが、黒字幅は前月の7,677億円から若干縮小した。



輸出の内訳を数量、価格に分けてみると、輸出数量が前年比39.5%（3月：同43.9%）、輸出価格が前年比0.6%（3月：同▲0.3%）であった。輸入の内訳は、輸入数量が前年比17.6%（3月：

同 16.9%)、輸入価格が前年比 5.6% (3月：同 3.2%) であった。

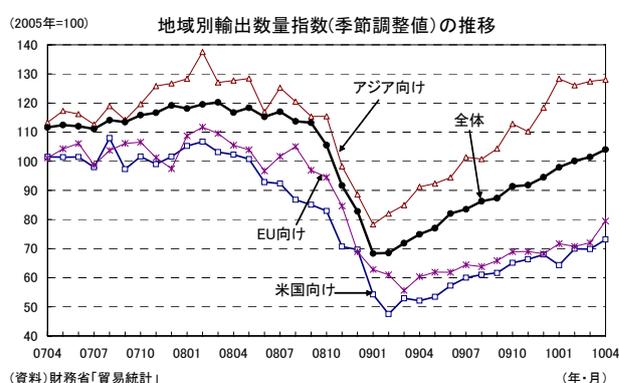
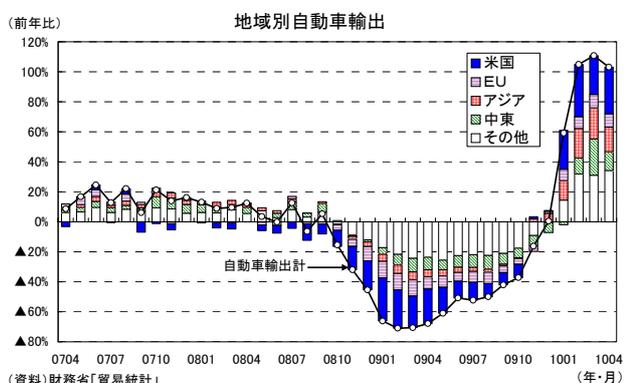
2. 自動車輸出は3ヵ月連続で倍増

自動車輸出は前年比 103.1% (3月：同 110.8%) と3ヵ月連続で100%を超える高い伸びとなった。米国向けが前年比 105.3% (3月：同 80.5%)、EU向けが前年比 49.7% (3月：同 69.7%)、アジア向けが前年比 113.8% (3月：同 147.2%) であった。3地域以外ではロシア向けが前年比 296.8% (3月：同 226.8%) と急回復を続けている。

4月の輸出数量指数を地域別に見ると、米国向けが前年比 39.8% (3月：同 30.9%)、EU向けが前年比 32.4% (3月：同 28.4%)、アジア向けが前年比 40.5% (3月：同 49.0%) となった。

季節調整値(当研究所による試算値)では、米国向けが前月比 4.7%、EU向けが同 10.4%、アジア向けが同 0.5%、全体では同 2.5%となった。4月単月で見るとアジア向けが前月比でほぼ横ばいにとどまる一方、EU向けが非常に高い伸びとなったが、欧州経済は停滞色の強い状態が続いていることに加え、円高・ユーロ安が急伸していることもあり、先行きについては期待できない。輸出の牽引役は引き続き中国を中心としたアジア向けという構図は変わらないだろう。

輸入数量指数(季節調整値)は前月比 3.0%の上昇となった。GDP統計の輸出入(財貨・サービス)は09年7-9月期以降、3四半期続けてともに前期比で増加したが、海外経済の回復を背景とした輸出の増加、国内需要の持ち直しに伴う輸入の増加基調は2010年度入り後も維持されていると判断される。



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。